

第3回 全国ユース環境活動発表大会が開催されました!

「全国ユース環境活動発表大会」は、高校生の活動の充実、及び将来の活動ビジョンの具体化を支援することを目的に、高校生の環境活動を全国から募集し、活動成果を発表する機会を提供するものです。3回目となる今回は、全国から応募があった100校より選ばれた代表、12校が発表。次世代を担うユースの皆さんの環境保全への熱い思いが伝わってきました。特に優れた活動発表には環境大臣賞等が授与され、表彰式には笹川博義環境大臣政務官が出席し、挨拶をいただきました。

日程 2018年2月3日(土)、4日(日)

会場 国連大学ウ・タント国際会議場

主催 全国ユース環境活動発表大会実行委員会

(環境省/独立行政法人環境再生保全機構/国連大学サステナビリティ高等研究所)

協力 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)/地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

ESD活動支援センター/全国大学生環境活動コンテスト実行委員会

協賛 キリン株式会社/協栄産業株式会社/SGホールディングス株式会社
三井住友海上火災保険株式会社



岩手県立遠野緑峰高等学校

草花研究班

ホップ和紙開発プロジェクト
～ホップ蔓の新たな可能性にかける～

全国屈指のホップの産地である遠野市で、廃棄されるホップの蔓から繊維を抽出し、化学薬品ゼロのホップ和紙を製作する工程や技術を向上させる研究を継続した。漂白剤を使わずにつくられた真っ白な和紙

は、「遠野物語」をイメージしたランプシェードや、地元小学校の卒業証書に使われている。またキリン株式会社の社員研修受入や、紙すき体験工房を開催するなど活動の普及にも努める。



愛知県立佐屋高等学校

羽ばたけコールドック農法研修班

世界最小のアヒル(コールドック)が地球を救う!

アヒル農法はアヒルが成鳥になると大きすぎて田んぼに放せず、コストもかかることが課題だった。そこで、動物園や野鳥園を訪ねて見つけた世界最小のアヒル“コールドック”を活用。この農法で育てた米や、米

糠を使用した保湿クリームやボディソープを、地元のコンビニエンスストアで販売し、活動の普及を図った。今後は他の農産物でもコールドック農法を推進し、付加価値をつけた6次産業化に注力していく。



和歌山県立田辺高等学校

田辺中学高校生物部

鳥の巣半島の生物多様性を守ろう

田辺市にある鳥の巣半島の豊かな生物多様性を守るため、ため池に生息する外来生物アフリカツメガエルの駆除を実施。従来は水を抜いて目視できる個体だけを駆除していたが、泥に潜る個体が残る繁殖すると

いう課題があった。そこで水を抜いた後に細かい網を沈め、カエルが空気を吸いに上がってこられないように。この方法を実施したため池ではアフリカツメガエルの駆除に成功した。



「第4回全国ユース環境活動発表大会」2019年2月9日(土)、10日(日)開催決定! 参加高校生募集中!